ひだまり

ISO9001:2015 認証機関
日本認知症ケア学会認定施設
岡山ひだまりの里病院　広報紙
第１２２号
２０２４年３月発行
発行責任者　藤田文博

冬来たりなば春遠からじ…

春の３本仕立て

春一番

火を囲み心もあたたまる『とんど焼き』

無病息災、家内安全を願うことが起源である「とんど焼き」を1月12日に行いました。とんど焼きは毎年行っています。2024年の始まりは思いもよらない、心が痛む出来事が立て続けに起こりました。今年は願う気持ちがより強くなりました。

晴れ空ですが、木枯らしが吹いていたため外は寒いです。火の暖かさと揺れる炎、ほんのりゆずが香るショウガ湯で患者さん、スタッフとも少し寒さを忘れることができました。「煙をあびて元気にならんと！」と患者さんとしめ縄を投げ入れ願いました。火を囲み、井戸端会議のように何気ない会話が繰り広げられる光景は、心がぐっとあたたまるひと時でした。

今年もみんなで集まって日常を楽しめる笑顔の多い一年になりますように。

作業療法士　中浜　暢子

春二番

笑顔たくさんの一日『デイケア節分レク』

2月の恒例行事と言えば「節分」です。今年は2日に行い、病気や災害を寄せ付けないたくさんの笑顔がありました。

今年の福女、辰年生まれＯさんに、福のおすそ分けということで豆（甘納豆）を配ってほしいとお願いしたところ「えーよー」と快いお返事。皆さんに甘納豆を配ってもらいました。「ありがとー」や「うれしー、おいしい！」と、美味しく召し上がられました。

朝の会では「恵方巻き」の話題や、赤鬼になったスタッフと、角を付けてもらった利用者さんとで記念撮影。皆さん良い表情です。

午後は大きな輪っかを投げ、床に置いてあるお手玉をたくさん捕るゲーム。お手玉の中に「お福さん」と「鬼」を含ませ、「お福さん」が捕れれば点数は倍、「鬼」を捕ってしまうとマイナスポイントになるというルールで挑みました。鬼を捕らないよう、集中して狙いを定めていました。

その日の夜には「家で恵方巻きを食べる！」と仰られていた方もおられ、ご自宅でもそれぞれの節分を楽しまれたようです。

介護福祉士　角野　いづみ

春三番

みんなで楽しく飾り付け『ひな祭り』

入院部門の取り組み～短期集中治療チーム

当院の病棟に、短期間の治療で元の生活の場へ戻る事を目的とする『積極的治療体制（＝「短期集中治療チーム」）』を立ち上げました。このチームには、専属の医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・精神保健福祉士を配置し、アセスメントとカンファレンスを重ね、薬物調整・認知症ケア・認知症リハビリを実施し、症状を改善させ、1～3ヶ月の入院で、元の生活の場に戻る事を治療目標としています。実際のチーム動きは以下のとおりです。

チームの取り組み

入院

・専門的な観察によるアセスメント⇒治療/対応方法の具体化

・入院前関係機関と情報共有（自宅や施設訪問も必要に応じて実施）

退院

・入院前の課題の改善を確認後に退院日設定

・入院前関係機関へ治療内容、対応方法説明、必要なアドバイス実施

退院後

・チームスタッフが退院先を訪問し、退院後の状態把握と課題抽出、家族支援、関係機関支援実施

・必要に応じて当院外来への引継ぎ

【実際の事例から】

Aさん（認知症、全盲）は、自宅にて昼夜問わず幻視に怯える行動がみられるようになり、昨年11月に入院。入院当初から幻視がなぜ起きているかをチームで分析し、薬物調整に加え、幻視の兆候がある際の対応を具体化、また幻視が拡大していかないような対応の具体化も行いました。全盲のAさんが入院環境に混乱しないようチームでご自宅へ訪問し、入院環境を在宅環境に近付ける取り組みも同時に実施しています。様々な取り組みの結果、夜間の睡眠もとれ、日中の幻視の拡大もなく、自宅で家族との生活を今年の1月から再開されています。今は当院のデイケアや訪問にて、AさんとAさん家族をサポートしています。

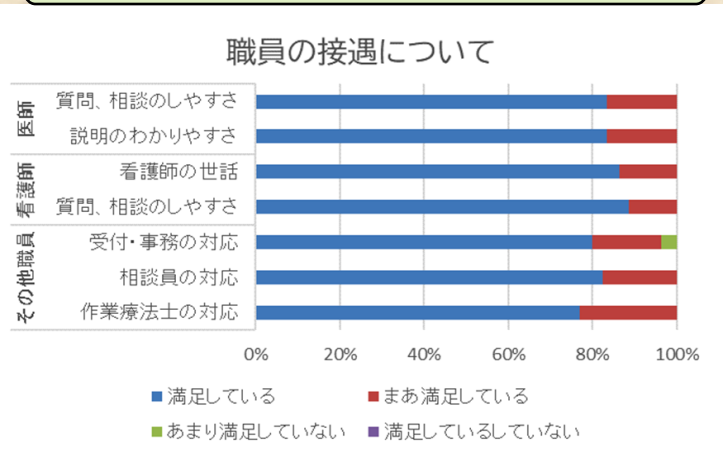
認知症の症状でご家庭での対応が難しい方（短期間での治療も可）、徘徊などで安全面の心配のある方など入院にてお受けしております。病状不安定などにより、入院治療をお考えがありましたら、相談員または外来看護師までお電話でご相談ください。　　岡山ひだまりの里病院 サポートセンター　加嶋・板野

2023年度 外来満足度調査（2023.11.17～12.8実施）回収率99％

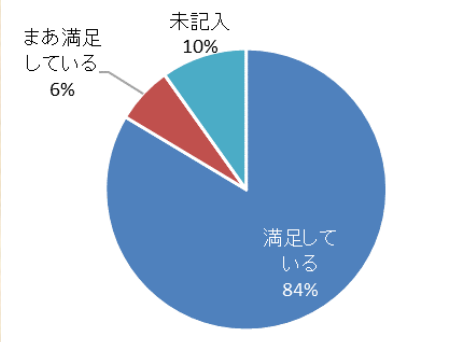
【回答者内訳】
記載者：患者様12%、ご家族72%、施設からの付き添いの職員3%、その他・未記入13%
当院で利用しているサービス：外来通院のみ77%、通院とデイケア8%、通院と訪問9%、未記入6%

今年度も外来通院患者様を対象に満足度調査を実施しました。お忙しい中、皆さん貴重なご意見やご回答、ありがとうございました。今後の外来医療活動に生かし、皆さんが利用しやすい病院となるよう職員一同、取り組んでいきます。

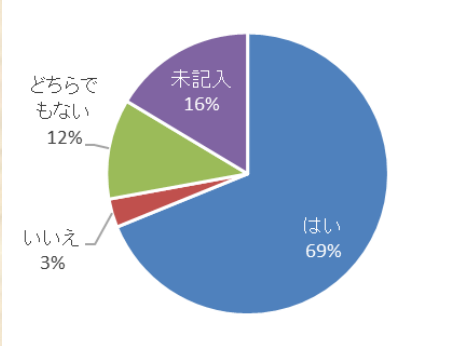
Q：外来の職員の接遇（対応）はいかがですか？



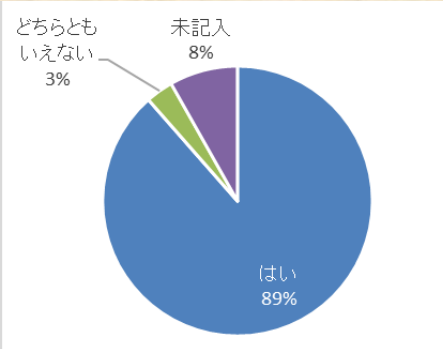
Q：利用されている外来のサービス(通院、デイケア、訪問、作業療法)に満足されていますか？



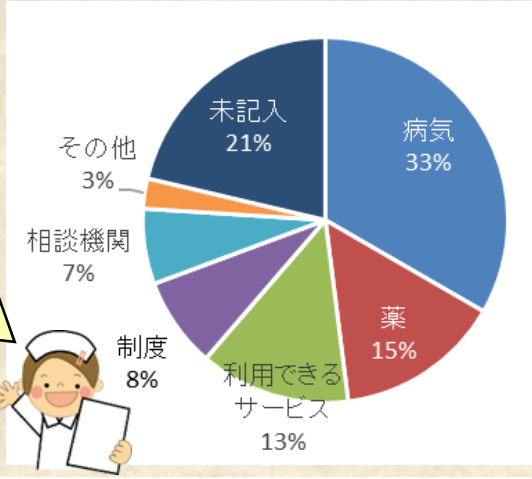
Q：当院にかかる前に抱えていた困り事や不安が軽減、解決はしましたか？



Q：認知症で困っている知人がいたら当院を紹介したいと思われますか？



Q：あなたが今、必要としている情報は何ですか？



アンケート結果を参考に必要な情報の発信なども今後検討していきたいと思います。

その他お気づきの点へのご意見として

「お医者様がいらっしゃるのでデイの日も安心できます」「本人の訴えが変化が多い中、丁寧に対応していただきありがとうございます」「毎回全職員さんの対応に大変満足しております。認知症に対する考え方、理念が素晴らしいと思います」等職員の励みになる言葉を多くいただききました。今回は、改善を要望するご意見はありませんでしたが、今後も外来への要望などありましたらお気軽におっしゃってください。

☆飛び交う質問☆

認知症カフェ・こおり銀座

新年を迎えて初めての認知症カフェ「こおり銀座」を1月22日に開催しました。前々日が大寒ですが、当日の縁側には暖かい日差し。陽気に誘われたのか、21名の参加がありました。今回のミニ講座は藤田院長の『※新しい認知症治療薬について』。新薬は昨年の12月に発売され「アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制が期待される」ことに加え、「軽度認知障害（MCI）と認知症の違い」についても学びました。また、すでに投薬が始まっていることをお伝えすると、参加者からは「治療費はどうなるん？」「ひだまりで治療は受けられるん？」など多くの質問が飛び交い、院長も笑顔でタジタジ。

カフェではいつものおいしい淹れたてコーヒーに加え、地域の方からいただいた甘いキンカンもあり、これでビタミンCを補給。感染症に負けない元気な会となりました。

事務長　黒瀬 健弘

※ 新しい認知症治療薬

アルツハイマー病では、脳にアミロイドβと呼ばれるタンパク質がたまったり、リン酸化タウというタンパク質が塊を作って神経原線維変化と呼ばれる病変ができたりします。これらの病変の影響で神経細胞が障害され脳が萎縮していきます。近年このアミロイドβを標的とした治療薬の開発が進んできています（レカネマブ（レケンビ®点滴静注）もそのひとつです）。

お知らせ

『病棟での面会を再開』

今年の2月より、病棟での面会を再開しています。感染症の拡大を防ぐため、
①平日と土曜日
②予約制
③各病棟とも「14：30～15：00」と「15：00～15：30」の2枠から始めています。

この他にもマスクの着用や人数等の制約はあります。詳しくは予約をお取りになる際にお聞きください。またご予約は病棟へ直接、お電話いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

※ 3月より月に2回の面会が可能になりました。

ごあんない

岡山ひだまりの里病院
〒702-8012
岡山市南区北浦８２２－２
電話　086-267-2011　FAX　086-267-2013
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/

≪外来≫
診療日時：月曜～金曜
9：00～12：30
＊予約制です。まずはお電話でご予約下さい

≪認知症デイケア≫
実施時間：月曜～土曜
9：30～15：30
（日曜・年末年始はお休み）

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。
医療費でお困りの方はご相談ください。
入院中の差額ベッド料はいただいておりません。